

## 情報モラル教育実践授業報告書

対象学年	高校1年生
領域	教科指導（英語科）
指導項目	実際に起きているスマホトラブルについて考える

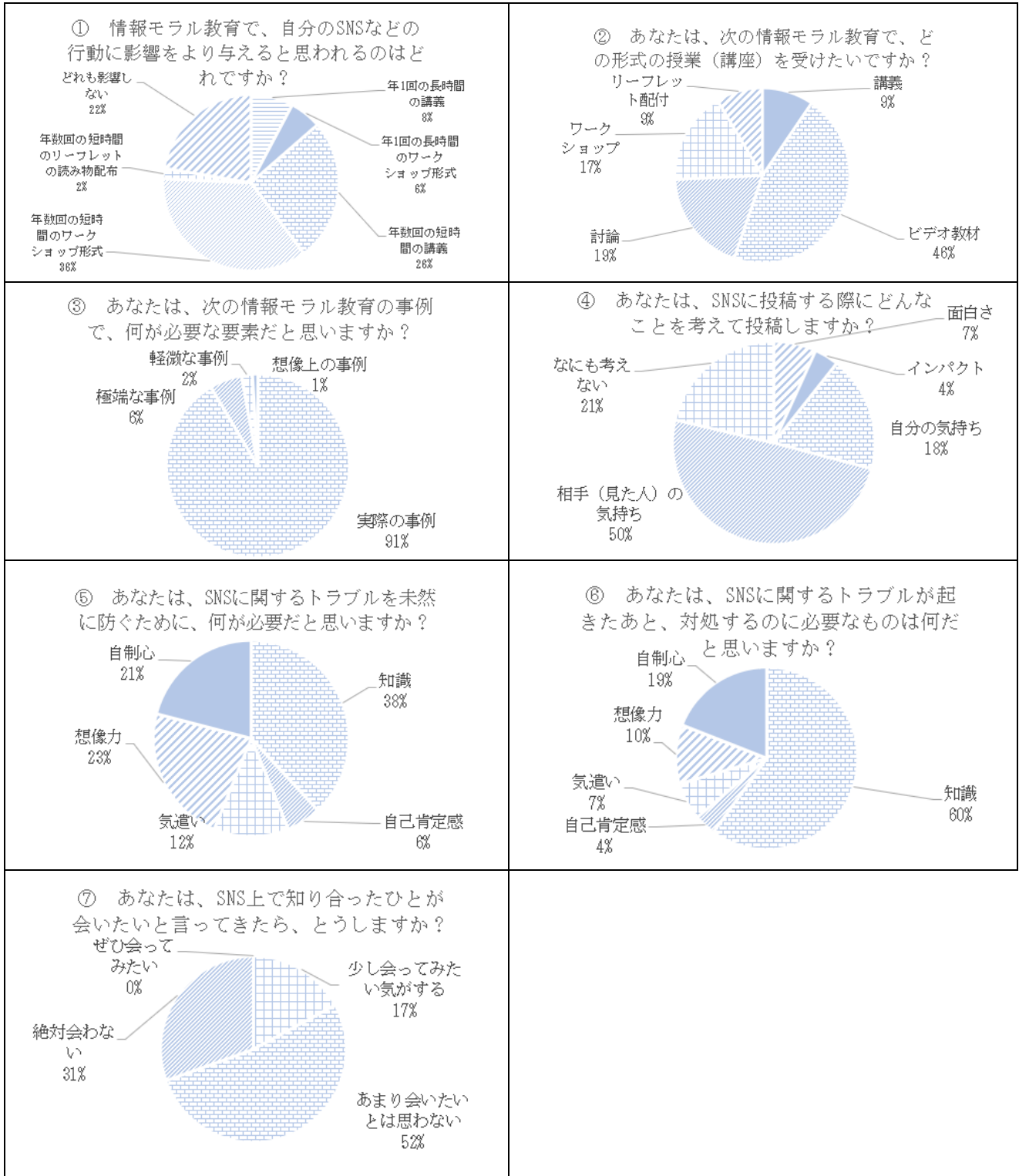
情報モラル指導モデルカリキュラム ( <a href="http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html">http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html</a> )			
指導分野	情報社会の倫理		
コード	b5-1	指導事項	個人の権利（人格権，肖像権など）を理解し，尊重する

授業前の生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの生徒がスマートフォンを所持し，SNS などを利用している。</li> <li>・問題になるような行動は少ないが，安易な投稿で他人を傷つけたり，感情的になった書き込みをしたりして，思いもよらない人間関係トラブルに陥る場合もある。</li> <li>・「おもしろさ」を優先して「人の気持ち」を考慮できない場合がある。</li> </ul>
生徒の心理的成長過程に応じた指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生の時期は，大人と子どもの中間にあり，自分自身の興味や好奇心を優先してしまうこともある。実際に起きた事案を基に考えさせることで，誰もが情報モラルに反する行為を犯してしまう危険が潜んでいることに着目できるようにする。</li> </ul>
期待される生徒の変容（実践のねらい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS による書き込みが人に与える影響について認識し，相手の気持ちを考えてから投稿することで，良好な人間関係を保つことができる。</li> </ul>
生徒の変容を促すための授業の工夫（ポイント）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に起きた事件を取り上げることで，自分事として捉えさせるようにする。</li> <li>・事件についてペアワークで話し合い自分とは違う意見や考え方に触れさせることで，自らの考え方の評価と改善を促すようにする。</li> </ul>
利用するコンテンツ等（サイトのアドレス）または資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あおり運転とその後の出来事について考えよう。（資料1）</li> <li>・小6 女児誘拐事件について考えよう。（資料2）</li> </ul>

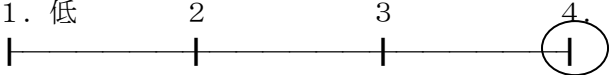
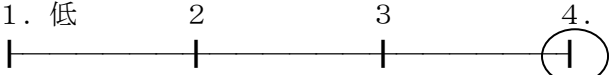
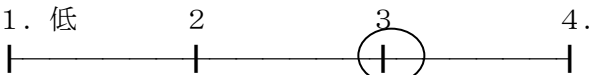
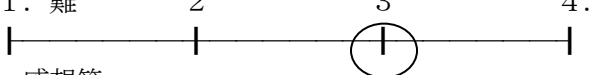
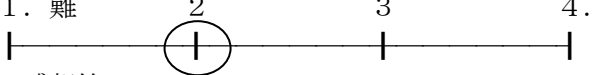
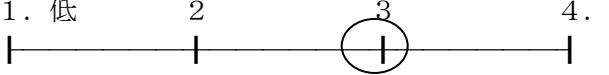
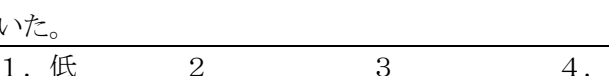
事前アンケート

<p>① これまでに情報モラルの講話を受けたことはありますか？</p> <p>いいえ 11%</p> <p>はい 89%</p>	<p>② ① (→情報モラルの講話) を最後に受けたのはいつですか？</p> <p>覚えていない 47%</p> <p>数か月前 25%</p> <p>半年前 10%</p> <p>1年以上前 18%</p>
<p>③ ① (情報モラルの講話) のあと、あなたがSNSを利用する際に変化したことは何かありますか？</p> <p>いいえ 35%</p> <p>はい 65%</p>	<p>④ 情報モラルの講話で、SNSなどの行動に影響をより与えると思われるのはどれですか？</p> <p>どれも影響しない 8%</p> <p>年一回の長時間の講義 10%</p> <p>年一回の長時間のワーク形式 7%</p> <p>年数回の短時間のワーク形式 94%</p> <p>年数回の短時間のリーフレットの読み物配布 8%</p>
<p>⑤ あなたは、次の情報モラル教育で、どの形式の授業(講座)を受けたいですか？</p> <p>ビデオ教材 43%</p> <p>ワークショップ 21%</p> <p>講義 17%</p> <p>討論 15%</p> <p>リーフレット配布 4%</p>	<p>⑥ あなたは、次の情報モラル教育の事例で、必要な要素は何だと思いますか？</p> <p>実際の事例 95%</p> <p>極端な事例 4%</p> <p>軽微な事例 1%</p> <p>想像上の事例 0%</p>
<p>⑦ あなたは、SNSに投稿する際にどんなことを考えて投稿しますか？</p> <p>相手(見た人)の気持ち 51%</p> <p>何も考えない 17%</p> <p>面白さ 14%</p> <p>自分の気持ち 13%</p> <p>インパクト 5%</p>	<p>⑧ あなたは、SNSに関するトラブルを未然に防ぐために、必要なものは何だと思いますか？</p> <p>知識 36%</p> <p>気遣い 27%</p> <p>想像力 19%</p> <p>自制心 16%</p> <p>自己肯定感 2%</p>
<p>⑨ あなたは、SNSに関するトラブルが起きた後に、必要なものは何だと思いますか？</p> <p>知識 62%</p> <p>気遣い 20%</p> <p>想像力 8%</p> <p>自制心 8%</p> <p>自己肯定感 2%</p>	<p>⑩ あなたは、SNS上で知り合った人が会いたいと言ってきたら、どうしますか？</p> <p>ぜひ会ってみたい</p> <p>会いたくない 24%</p> <p>少し興味がある 11%</p> <p>ぜひ会ってみたい 1%</p> <p>あまり会いたいとは思はない 64%</p>

事後アンケート



# 評価

生徒について	生徒の 興味・関心の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 さまざまな事例に対して、グループで活発な話し合いをすることができていた。
	生徒の理解度	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 トラブルの可能性や、予期していなかった問題が起こる可能性について深く考えている様子が見られた。
	生徒の 変容の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 アンケート結果から、考えてほしいポイントや SNS に潜む危険を理解させることができていた。
授業について	事前準備の難易度	1. 難                      2                      3                      4. 易  理由・感想等 授業をスムーズに進めるためのテキスト作りに時間がかかったが、それ以外では比較的容易であった。
	指導者にとっての 授業展開の難易度	1. 難                      2                      3                      4. 易  理由・感想等 我々の予想できない生徒の発言や感覚を目の当たりにし、自分自身が戸惑う場面があった。ねらいを達成するために臨機応変な対応が必要である。
	授業の「ねらい」の 達成度	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 アンケートの結果から、おおむね生徒の意識を高めることができた。しかし、生徒同士の話し合いの中で、他者の意識と自分の意識を比較することで、SNS で知り合った人と会うことに対する心理的なハードルが下がった生徒もいた。
	指導方法の 効果の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 必要に応じて身近な話題をグループワークで考えさせた結果、さまざまな意見に触れ各自の考えを深めさせることができた。

## <実践の感想及び反省点等>

生徒のニーズに合わせて情報モラル教育の機会や教材を提供する必要がある。これまで本校で実施してきた情報モラル教育は、年に一度講師を招き講話をしていただくものであった。しかし、アンケート結果から、1回の講話だけではなく、回数を重ねることが望ましいことが読み取れる。また、ビデオ教材などを用いて視覚的にアプローチすることの必要性も感じた。

## 実践例

配当時間		学習のすすめ方	指導のポイント
導入	10分	1 事前アンケートに個別に答える。 2 4人1組のグループをつくり、最近話題になった「あおり運転」を英語で説明できるか確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な表現でよいことを理解させ、発言を促す。</li> </ul>
展開	30分	3 あおり運転の容疑者を捕まえるために、ある市議会議員が行った SNS に顔写真と名前を投稿した行動について考える（なぜそのような行動をしたのか、その行為に賛成か、被害者の気持ちはどんなものか、どうすべきだったのかなど）。 4 責任を問われた市議会議員は辞職したが、その判断は妥当だったのか、立場が違ったらどうかなど考える。 5 新しい話題として、小6 女児誘拐事件について考える。 6 SNS 上で知り合った相手は信頼できるのかを考えた上で、SNS 上で知った情報の信ぴょう性についても考える。またそのようなきっかけとなった女児の投稿についても議論する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不用意な投稿が思いもよらない結果につながることを理解させ、自分自身の投稿にも注意を払うようにさせる。</li> <li>・今回の出来事を他人事ではなく、自分にも関わることであるように考えさせる。</li> <li>・SNS 上で知り合った人との関わり方について考えさせる。</li> </ul>
まとめ	10分	7 グループで意見交換をし、SNS 上のトラブルを未然に防ぐために学校や社会にできることは何か、個人にできることは何か、を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな意見がある中で、お互いの意見を尊重しながら一つの意見にまとめる。</li> </ul>

## 情報モラル教育を広げるための方策と課題

情報モラル教育を広げるための実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のクラスの担任が、LT の時間を用いて本実践できるよう、教材と指導案を共有することで教材作成の効率化を図った。</li> </ul>
情報モラル教育を広げるための課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の SNS に対する感覚と、デジタルネイティブである生徒の SNS に対する感覚の違いを考慮しながら方策を考えなければならない。</li> <li>・グループワークをすることで、正しいマイノリティが間違ったマジョリティに吸収されてしまう場面があった。</li> <li>・生徒にとって「短時間」は一つの重要な要素であり、すぐに答えの出ないものをじっくりと考えさせることが難しい。これを踏まえて他の教員に実践してもらう必要がある。</li> </ul>

資料1

## 《あおり運転》と《その後の出来事》について考えよう



Q What is “AORI UNNTENN”? Can you explain it in English?

Q. What happened next? (As for Toyota City council)



Q1 In the first place, why did he post a comment like that?

《other opinions》



Q2. Do you agree with his action? Why or why not?

《other opinions》





Q3. How did the victim of the comment feel?

《other opinions》



Q4. What should he have done before he posted the comment?

《other opinions》



Q. Was it necessary for him to resign his post as a member of a city council? Why was it necessary / unnecessary?

**What do you think is the most important thing when you post a comment?**

—

## 《小6 女児誘拐事件》について考えよう



- Q1 11月に起きた小学6年の女の子が大阪市から連れ去られ、栃木県小山市内で保護された事件を知っていますか？
- Q2 どんな方法で男性（容疑者）は小学6年生の女の子（Aさん）と知り合ったか、知っていますか？
- Q3 容疑者は SNS のダイレクトメッセージで「半年前に来た女の子がいる。しゃべり相手になってほしい。うちに来ない？」というメッセージで女の子を誘い出し、自ら大阪市まで迎えに行くとみられています。



《グループで意見交換しよう！》

- ① SNS のダイレクトメッセージ（DM）を使った、という点に関して、何か問題点や違和感がある人はいますか？それとも、DM 自体は問題ない？
- ② もし、あなたが知らない人から SNS の DM で会おうと誘われたら、会ってみたいですか？どんな条件なら会ってもいいですか？

- Q4 子供を狙ってる悪い大人にとっては、ハッシュタグで検索して「家出」や「死にたい」という書き込みをする子供というのは接触しやすい、という意見があります。
- ① この意見を聞いて、あなたはどう思いましたか？  
また、
- ② そのような投稿をする行為自体について、あなたはどう思いますか？
- Q5 「親とケンカした」や「行く当てがない」というツイートに対して、「場所はどこですか」「相談に乗りますよ」「迎えに行きます」という不特定多数の人物が誘いのメッセージを返信することがあるようです。





《グループで意見交換しよう！》

- ① 自分の家族や友達よりも，SNS 上の知らない人の方が自分の気持ちをよく分かってくれる，という人がいますが，これについてどう思いますか？
- ② SNS 上で知り合った人の言っていることは，本当のことだと思いますか？（名前，年齢，性別など）
- ③ SNS 上で知り合った人と実際に会うことについて，あなたはどう思いますか？

最後に，みんなで考えよう！



- ① このような事件を未然に防ぐために，学校や社会は未成年者に何ができると思いますか？
- ② あなた自身は，何に注意してスマホを使うべきだと思いますか？